



すぎなみ

教育報

第186号
平成19年9月28日
発行 杉並区教育委員会
杉並区阿佐谷南1-15-1
☎3312-2111 FAX 5307-0692
教育委員会ホームページ
<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>
区公式ホームページ
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

副校長二人制を聞く

8月1日より、副校長二人制が井草中学校、和田中学校の2校でスタートしました。現在、副校長は教務指導（先生が生徒を教えることへの指導など）から学校施設の管理、地域との連携にいたるまで、膨大な量の業務に追われています。副校長二人制は、そんな副校長の業務を分担し、現副校長が教務指導に集中できる環境づくりを目指します。新しい副校長は区で行政実務に携ってきた課長級職員。教員経験はありません。この制度を、井草中、和田中はどのように受け止め、どう活用するのか。夏休みが終わり、生徒たちがやってくる本格的なスタートを前に、2校の副校長二人に話を聞きました。（2面に関連記事）

地域とともに進めていく教育の充実を 井草中学校

問 今の心境は。
小林副校長（以下「新副校長」）
8月1日に着任し、その当日に町会長など地域の方のお宅を五十件ほどあいさつに回った。井草中が地域に支えられている学校であること、改めて肌で感じた。



小林（新）副校長

問 橋爪副校長とはどこが違うのか。
新副校長 橋爪副校長は生徒への教育に係る管理・監督を行う。私は、行政の実務者として学校事務の管理や地域と学校の橋渡し役などを担うことになる。

問 二人制による業務の分担によって生徒と接する部分は増える？
橋爪副校長（以下「副校長」）
二人制によってできた時間をどんどん活用して、生徒の学校生活に目を配る時間をもっと増やし、課題の解決に活かしていきたい。

問 副校長同士の情報共有は？

問 今までの「役所勤め」と違うところは。
杉田副校長（以下「新副校長」）
私は教師ではないが、副校長として学校に配属された以上、「生徒たちを色々な意味で指導する」という目標は必要になってくると思う。

問 生徒にはどのように呼ばれるのか？
末吉副校長（以下「副校長」）
私と同じく「杉田副校長先生」と呼ぶよう生徒たちには指導していく。

問 生徒たちと接する部分は増える？
副校長 子どもと関わるのが好きだ。今も各教室に入って授業を見て回っているが、更に増やそうと思う。学校の課題解決にも力を入れたい。

問 杉田副校長はどうか。



杉田（新）副校長

ここに配属されたのだと思う。でも生徒たちに

学校に教育改革の種を

問 両副校長 毎朝8時から経営会議（校長・副校長・主幹の打ち合わせ）で連絡調整を行っている。また、席は隣同士なので、随時情報交換している。

問 学校が変わっていく、という手ごたえは？
両副校長 生徒あつての学校。校長先生をトップに先生方と一丸となって、より良い学校にしていきたい。また、地域や区役所とのパイプを太くして、学校を活性化させたい。

問 二期からの抱負を。
新副校長 学校は生徒が主役。生徒が楽しく学校生活を送れるよう教育環境の整備を行ってほしい。



橋爪副校長

副校長 井草中は地域からいろいろな場面で協力を得ながら教育を進めている。二人制により、さらに地域との連携を円滑に行い、生徒たちに豊かな人との関わりを進め、ひとりひとりの「豊かな心」を育てていきたい。

顔くらは覚えてもらいたい（笑）。
問 副校長同士の情報共有は。



末吉副校長

両副校長 今は（新副校長から）副校長に聞く一方だが、お互いの情報の欠落は生徒や保護者の不利益につながる。定期的にはないが、常に会話を交わし、情報の共有に努めている。

問 今後の抱負を。
新副校長 私が来たことで、学校がより良くなり、それが生徒たちに効果としてもたらすことができれば本当にうれしい。そのために頑張りたい。

副校長 目に見える成果が出るまでには多少時間がかかるかもしれないが、今は改革の種を蒔いたところだ。学校支援本部の方々や保護者、地域の協力を得ながら、生徒のために、そして和田中のために頑張りたい。

和田中学校

第4回 すぎなみ本の帯アイデア賞 ～小・中学生の作品大募集～

読んで楽しかった本は誰かに薦めてみたくなるもの。そんなお気に入りの本にける「帯」広告を作って応募してください。用紙や筆記用具の種類、字体、字数は自由。写真やイラストなどを入れてもOK！

【受付期間】10月1日（月）～10月15日（月） 【受付場所】中央図書館
【応募方法】応募用紙に必要事項を記入して、作品に添えて提出してください。（応募は一人につき1点）
※応募用紙は各区立図書館にあります。
※応募は、学校で取りまとめて提出してもかまいません。

審査委員は、作家の清水義範さん、絵本作家の織茂恭子さん、コピーライターの松塚しのぶさん、児童書編集者の澤田精一さん。皆さんの自信作を「本の専門家」が審査します。
入選者には、表彰状と副賞として図書カードを差し上げます。

高円寺図書館の休館と臨時窓口開設のお知らせ 大規模改修工事に伴い臨時休館しています。

【休館期間】平成20年2月29日（金）まで
皆様にはご不便をおかけしますが、休館中は臨時窓口を設置して一部の図書館サービス業務を行います。
【臨時窓口】セシオン杉並1階（梅里1-22-32）
【開設期間】平成20年2月24日（日）まで
【取扱サービス】予約図書の貸出、杉並区立図書館資料の返却、蔵書検索、利用登録
【開設時間】午前9時から午後8時まで
（日曜・祝日は午後5時まで）
【休館日】9月29日、毎月第2・3・4木曜日及び第2木曜日の前日、12月28日～1月4日
【お問合せ】中央図書館 ☎3391-5754
高円寺図書館臨時窓口 ☎3316-2421

読書の秋、一冊の本で誰にでも会える、どこにでも行ける

(一面関連)

●タネタはなみすけにインタビュー



副校長はどんな仕事をしているの？

インタビューでも聞いているんだけど、一番短い言い方をすると「学校に関する全てのこと」になる。教務指導・生活指導・3年生の進路・先生のこと・部活動のこと・学校の安全管理・学校施設の見回りと改修などのこと・PTAのこと・地域とのつながりのこと・学校の事務……何しろ多い。学校は24時間体制だとも言っていた。



新しく来た副校長は何をするの？

基本的には、「生徒と先生に関すること」以外のことになる。学校の事務・学校施設の管理・学校開放・給食のこと・地域との関わりなどだね。でも単純に分けることはできないんだ。今挙げた仕事だって、結局は生徒と先生に関係してくるはずなんだし。だから井草中も和田中も、大まかな役割分担はしているけど、二人でよく話し合っていて決めているようだよ。



学力向上を目指した授業改善が進んでいます
～平成18年度の杉並区学力等調査結果がまとまりました～

【学力調査】

学力調査は、それぞれの教科における基礎的な学習事項が定着しているかを調べるものです。

各教科のいくつかの「観点」（「関心・意欲・態度」など）に対し、評価の基準として「目標としている学力が身につけている児童・生徒であれば到達できるであろう」という「目標値」を設定しており、それに到達した子どもたちの、全調査人数に対する割合が下表の達成率です。

【意識・実態調査】

意識・実態調査は、学習・生活についてのアンケート調査を実施し、その傾向を分析します。アンケート項目の分析は「学習時間」「読書冊数」「自己の安定感（「人の気持ちを分かろうとしている」や「自分と違う意見も大事にしている」など）」「学力向上のベース（「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」など）」「学力向上への態度（「分からないことは質問したり調べたりしようとしている」など）」という「領域」に分けられており、また学力調査と意識・実態調査での読書冊数の関連なども分析します。

小学校では、前年度と比較すると「自己の安定感」「学力向上への態度」「学力向上のベース」全ての領域で上昇しました。特に「自己の安定感」の領域で「自分とちがう意見も大事にしている」が大きく上昇しています。

中学校では、前年度と比較すると「学力向上のベース」の領域で、「勉強して身に付けた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う」が低下したものの、ほとんどの領域で上昇しています。

【表1】小学校達成率（％）

Table with 6 columns: 国語, 算数, 教科全体, 関心・意欲・態度, 聞く力, 書く力, 読む力, 言語, 全体, 3年, 4年, 5年, 6年. Rows include 国語 (教科全体, 関心・意欲・態度, 聞く力, 書く力, 読む力, 言語), 算数 (教科全体, 関心・意欲・態度, 数学的思考方, 表現処理, 知識理解).

【調査結果を生かした学校での取組みの例】

大宮中学校では、今までの調査結果を踏まえ、「読む力」「書く力」を育成するための様々な取組みを行っています。

「読む力」の育成については、朝読書の実施や読書記録の継続のほか、教師が授業の中で読書紹介をし、図書室を毎日開いて利用人数を増やしています。

「書く力」の育成については、授業の中で書く場面を多く取り入れたり、書く意欲を育てるために、友だちの書いた文章に対して自分の意見を書いたりする学習に取り組んでいます。

また、教科だけでなく、全校体制での読書指導や読書活動における保護者との連携、生徒間の良好な人間関係作りなどにも力を入れることにより、学力の向上を図っています。

【表2】中学校達成率（％）

Table with 6 columns: 国語, 数学, 英語, 教科全体, 関心・意欲・態度, 聞く力, 書く力, 読む力, 言語, 全体, 1年, 2年, 3年. Rows include 国語 (教科全体, 関心・意欲・態度, 聞く力, 書く力, 読む力, 言語), 数学 (教科全体, 関心・意欲・態度, 数学的思考方, 表現処理, 知識理解), 英語 (教科全体, 関心・意欲・態度, 表現, 理解, 言語).

今回の調査報告書は、全文を区のホームページに掲載していますので、ご覧ください。
問合せ先 済美教育センター ☎3311-0021

アメリカ人教員が区立学校を訪問

Hi, kids!



日本フルブライトメモリアル基金(※)の米国教育者招聘プログラムで、全米の各州から選抜された教員など19名が、三谷小学校と向陽中学校を訪問しました。

6月19日は三谷小学校。子どもたちが独楽・あやとり・羽根つき・けん玉・歌遊びなど日本の伝承遊びを披露し、アメリカ人教員も子どもたちと輪になってゲームを楽しむなど、あっという間に時間が過ぎていきました。当日は、学校運営協議会委員や保護者の方々が通訳ボランティアとして参加、「地域に根ざした三谷」の力が発揮されました。

翌20日は向陽中学校を訪問。授業見学を行った後、給食・休み時間を生徒たちと英語を交えた楽しいおしゃべりで過ごしました。

今回、日本の教育現場の視察を目的としてやってきたアメリカ人教員訪問団ですが、その持ち前の明るさで三谷小・向陽中の子どもたちに異文化体験・国際交流という素敵なプレゼントを置いていってくれました。

※日米の教育交流を目的に、日本政府の拠出金により日米教育委員会（フルブライト）が運営する基金。米国教育者招聘プログラムは同基金により行う3つのプログラムの一つです。

国際交流のつどい 帰国子女や外国籍の子どもたちが、日本語の読み書きができなかったり、日本語での授業に不安がある場合、通っている学校に講師を派遣して、日本語の指導（訪問指導）を行っています。19年度は、中国、韓国、オーストラリア等、さまざまな国から来た子どもたちが指導を受けています。その成果を発表する会を開催しますので、ぜひご来場ください。
日時：10月27日（土）午前10時～正午 会場：杉並第四小学校体育館（高円寺北2-14-13）内容：海外で過ごした小・中学生の発表、ハロウィンのアトラクション、バルーンアートほか 申し込み・問合せ：済美教育センター ☎3311-0021

歩きながら、元気と文化が生まれる街。

あなたの仕事経験を、みんなの学習素材に再編集！ ただいま参加者募集中！！

今年度車座委員会が取り組む“実験的”講座。それが『**社会科外伝～一人ひとりの体験を活かして作る社会科副読本**』です。食料生産や環境、工業や運輸、くらしと情報などを学ぶ小学5年の学習を具体的なイメージとして持ちながら、参加者が経験から得てきた貴重な知識や技術を出発点に、地域の（子どもたちの）求めに応じて再編集していく力を磨いていこう、発信していこう、というものです。**「次世代のために何かできないか」、「長年培ってきた技術を身近な場で役立てたい」**など、集まったみなさんの思いからはじまる講座です。詳細は、広報すぎなみ9月21日号や区ホームページをご覧ください。

「何でも」「誰でも」車座になって

さて、平成13年度に設置され、「**子どもの問題は大人の問題でもある**」などを活動の柱に、区民参画と協働を推進し、さまざまな大人の学習機会を作り出してきた車座委員会。委員も職員もまさに車座になって自由に意見交換しています。また、課題別にチームをつくり活発に実践とふりかえりを行なっています。定例委員会は**毎月第四水曜日夜6時30分**からセッション杉並、**公開開催**です。委員の公募も毎年行なっています。ぜひ一度のぞいてみてください。



楽しく開催中！～家庭学級～



西荻地域区民センターの和室に足を運ぶと、**楽しい音楽とにぎやかな歌声**が。その日は親子で参加できるリズム遊び「ぷちまっとの会」が催されていました。

この講座は特定非営利活動法人子ども文化NPO M・A・Tが主催し、1歳から3歳までの子どもと親が、**肩の力を抜いてふれあう場をつくる**のを目的に開催しています。今回のリズムあそびのほか、人形劇、パントマイム、パネルシアター、手あそび等を行っています。

講師であるミュージックラボ・ぴゅあの野村さんが「さあ、次は海に行くよ～。みんなは舟に乗っています。指定席は、お母さんのおひざの上。波がきた～」と声をかけると、子どもたちは「きゃ～」と言って、次から次へと出てくる歌とともに広がる想像の世界、テンポ良く切り替わる歌と遊びに大喜び。

参加しているお母さんも、「普段『親子で』ということが少ないので、意識的にふれあいの機会をつくりました」「昨年も参加して、今年はお友達と一緒に参加しました」と楽しそうに話していました。

家庭学級を開催しませんか？

小・中学校PTAや自主グループ等が、お料理教室、親子ヨガ体験、リフレッシュメイクアップ講座など、「家庭学級」を利用して講座を開催しています。ぜひ皆さんも取り組んでみませんか？

問合せはいつでも社会教育センターへ ☎ 3317-6621

読んでみてください～PTA広報紙の魅力～

PTA広報紙が元気です。第18回東京都小学校PTA協議会広報紙コンクールで最優秀賞を受賞した杉並第五小学校の「**すぎご**」は、おやじの会の記事や、父親の役割に関するアンケート結果を交えるなど、企画の素晴らしさや、斬新なレイアウトが評価されました。また、第29回全国小・中学校PTA広報紙

コンクール企画賞他を受賞した高井戸第三小学校の「**たかさん**」は、校長や地域の方へのインタビューなど積極的な取材や、別冊を作るほどのボリュームのある特集記事により、「広報紙」の枠を越えた多彩さを備えています。中味充実のPTA広報紙、手にとってみませんか？



「すぎご」

「たかさん」

教育委員からの発信

今年度のテーマは「**これからの学校**」。5人の教育委員が意見を発信します。

「支援者」から「当事者」へ

教育長 井出 隆安

地域運営学校（コミュニティ・スクール）は、保護者や地域の皆さんが合議制の機関である学校運営協議会を通じて、一定の権限と責任を持つて学校運営に参画することにより、地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりを目指す仕組みです。

また、自分達にとって最も身近で関心が高い「学校」で行われる「教育」や「子ども」のことについて考え、「自分たちのことは自分たちで責任を果たす」という分権・自治の考えを現実的・具体的なものにしていく仕組みでもあります。

これまでも学校は「ゲスト・ティチャー」や「学校ボランティア」など地域の方々の多様な支援を得て、教育活動の充実を図ってきました。地域運営学校はこうした関係をさらに拡大・組織化し、学校外の人材の教育活動への参画を一層促すとともに、法に定められた制度として保障することによって、これまでの「支援者」という補助的・補完的な立場から、責任と権限を共有する「当事者」へと昇華させ、学校の経営力・教育力を高めていくことを目的としています。



こうした取り組みは、地域の人材や外部機関の参加を促進することによって、多様な立場の人が混在する「開かれた関係」へと変えていこうというものです。これまで長く馴染んできた学校の風景を大きく変えることになり、受け入れるには不安や抵抗も大きいかもれません。

杉並区では「学校支援本部」の設置を進めてきましたが、これは名前の上で「学校の教育活動を支援する組織」であり、地域運営学校の準備段階（前身）的なものともいえません。様々な学校支援の取り組みを通して「新しい学校の仕組み」に対する理解を深め、地域運営学校へと育てていくことによって、これまでの学校の限界を乗り越え、教育の新たな展開が可能になるものと考えています。

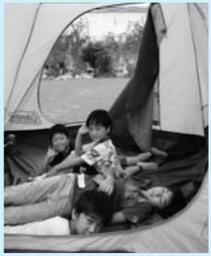
ご意見をお待ちしています

「教育委員からの発信」をお読みになった方からのご意見を募集しています。ご意見は郵送、または区公式ホームページ（生活ガイド）→「子供、教育」→「教育委員からの発信」にお寄せください。

▶ 第3回体力づくり教室を開催します 児童・生徒の体力向上を図るための体力づくり教室です。第3回は、早稲田クラブ指導者によるラグビー教室を行います。日時：11月10日（土）午前10時～正午（9時45分集合） 会場：和泉小学校校庭（雨天時は体育館） 対象：小学校4年生～中学校1年生 費用：無料 申し込み：各学校に「体力づくり教室の開催のお知らせ」を配布しますので、学校を通じてお申し込みください。 問合せ：済美教育センター ☎ 3311-0021

区役所いつでも電話サービス #8800

「親児」と「GP」から子どもたちへ最高の贈り物 ～和泉グリーンキャンプ、グリーンコンサート～ 和泉小学校



奥に見えるのは壁面緑化。和泉小はまさに「グリーン」なんです。

和泉親児の会主催の「和泉グリーンキャンプ」は今年が2回目。5つの班の子どもたちが、校庭で野外生活をします。こんなことができるのも、和泉グリーンプロジェクト（GP）の皆さんや、学校・地域に大切に育てられている芝生があるから。ごろんと寝そべったり、裸足で駆け回りたりできるのが魅力ですが、みんなで作ったカレーの熱い鍋は直に置かないなど、「いずみっ子」は芝生への心配りも忘れません。

体育館の向こうに日が沈み、ペットボトル製の灯ろうに火が灯ると、いよいよ和泉グリーンコンサートの開幕。観客は思い思いに芝生に座り、英語授業のサポーターで、プロギタリストでもあるマーティン先生が奏でる優しい調べに耳を傾けていました。コンサートの後、子どもたちは芝生の上で一泊。テント設営やカレー作りを一緒にやり遂げた仲間との一夜は、最高の夏の思い出となったことでしょう。(8/25)



今の校舎の記念に夕涼み会を行いました！ 松溪中学校

昭和23年に開校し、長い歴史と伝統を持つ松溪中学校は、来年度より校舎全面改築工事が始まります。

今の校舎が迎える最後の夏の思い出として、保護者やPTA、そして地域の方々の協力ですぐ「夕涼み会」を行いました。夏休みに行うお祭りは、今回が初めての試みで、ヨーヨーすくい・かき氷・駄菓子などのコーナーが並び、子どもたちも大喜び。今の校舎がなくなってしまうというちょっと寂しい気持ちもありますが、最後には、感謝の気持ちを込めて「ありがとうございました！！」と校舎にむかって元気よく全員であいさつをし、みんなで楽しい時間を過ごすことができました。

平成22年度に新しく誕生する松溪中学校は、この地域が持つ特性や学校施設に対する想いを大事にしながら、今まで以上に愛され育てられていく素晴らしい学校になることでしょう。(8/25)



たくさんの思い出がつまった校舎を背に浴衣や甚平姿で花火を楽しむ子どもたち。

ボランティア部と近所のペンキ屋さん 中瀬中学校

「おっ、上手だねえ。」見知らぬおじさんが僕らに話しかけてきた。僕らはボランティア部。日々学校の美化・清掃等に励んでいる。今日は校長先生と学校東側の壁のペンキ塗りをやっていたところだ。5月頃から壁の掃除をし、壁の向かいにある家の人たちとどんな色がいいかを話し合い、夏休みに入ったばかりの2週間、汗まみれになってペンキを塗るという一大プロジェクトだ。おじさんは秋山さんといい、近所でペンキ屋をやっている。塗装のプロだ。秋山さんは自分の仕事だであるのに、塗装のやり方指導から、仕上げの手伝いまで付き合ってくれた。秋山さんの友だちの桜井さんもやって来て、ひびの入った部分に目地を入れてくれた。そしてついに完成。僕らと、秋山さんと、桜井さん。みんなできれいにした壁だ。



真夏の一大事業を成功に収めた男たち。中央右が秋山さん、左が桜井さん。

響きあう ～どじょっこ合唱団とのジョイントコンサート～ 四宮小学校

いつもより少しだけおめかしをした日尾先生のピアノ伴奏が始まり、それに重ねるように子どもたちが穏やかに「海」を歌いだす…四宮小合唱団ミニコンサートの開演です。4年生から6年生まで140名あまり、歌の大好きな子どもたちが集うこの合唱団は、毎年6月に新メンバーで活動を始め、年度末に集大成としての発表会を開催します。今日はその中間発表というところですが、歌と真摯に向かい合う、その初々しさが聞きどころ。子どもたちに加え、今回は全国の学校などで合唱の魅力を伝えている国立音楽大学どじょっこ合唱団も参加しています。子どもたちは「どじょっこ」の技術・表現力を学ぶ一方、「どじょっこ」は子どもたちの歌から「元気」をもらいます。最後は合同合唱による「翼をください」で幕を閉じましたが、更なる高みを目指す子どもたちの挑戦はこれからです。(9/8)



「ミニコンサート」は、観客をも巻き込む「大コンサート」となったのです。

教育委員会の動き 19年6月～8月

【教育委員会開催状況】

定例会	5回	臨時会	1回
議案	30件	報告事項	17件

【主な案件】

- ◎は審議、○は報告事項
- ◎「杉並区立小中学校第一次適正配置計画素案（中学校の統合）」の策定について
- ◎杉並区立杉並第五小学校及び杉並区立若杉小学校の廃止と杉並区立天沼小学校の設置について

◎学校教育法第107条教科用図書の採択について

- 小中学校適正配置のための再編構想
- 副校長二人制の実施について
- 平成19年度杉並区立小・中学校教育課程の分析
- 改修事に伴う高円寺図書館休館及び臨時窓口の設置について
- 「エコスクール化検討懇談会（第二次）」の設置について
- 杉並区中学校対抗駅伝大会2007の概要について
- 平成19年度学校希望制度の実施について
- 平成18年度学力等調査の結果概要について
- （仮称）杉並区立西荻地域図書館の名称及び運営委託団体選定結果等について

インド音楽の調べと楽器の魅力

「日印交流年（※）」の今年、インド古典楽器のバンスリー、タブラ、タンブーラなどによる生演奏を楽しむ会を催します。また、珍しい楽器に触れたり、インドについての興味深い話を聞いたり、インドの音楽や楽器などの魅力をお伝えします。会場にはインドの音楽や暮らしに関する本、民話の絵本や読み物を展示します。
※日印文化協力協定50周年を記念して、「日本におけるインド年」と位置づけています。

- 【日時】10月6日（土）午後2時～4時
- 【会場】中央図書館 地下 視聴覚ホール
- 【出演】寺原太郎（バンスリー（インドの竹笛）奏者）ほか
- 【定員】50名 【費用】無料
- 【申込】10月1日より電話で受け付けます。（先着順となります。）



10月30日から11月6日は
読書週間です。

知の散歩道

『文学と恋～「源氏物語」から与謝野晶子まで～』

恋とはなんなのでしょう？私たち日本人は、今までどんな恋をして、その恋を文学においてどのように表現してきたのでしょうか。また、西洋文学における恋とは、どのように異なるのでしょうか。そんなことを文学史に残る有名な作品を読みながら、考えてみませんか。

講師に白百合女子大学教授である井上隆史さんをお招きします。ぜひ、ご参加下さい。

- 【日時】10月20日（土）午後2時～4時
- 【会場】中央図書館 地下 視聴覚ホール
- 【講師】白百合女子大学教授 井上隆史
- 【定員】60名 【費用】無料
- 【申込】当日、直接会場へ。（先着順となります。）



井上隆史氏

区立図書館では、さまざまな催し物を開催しています。詳細については10月11日の「広報すぎなみ」をご覧ください。どうか、最寄りの図書館へお問合せ下さい。



古紙配合率100%再生紙を使用しています。

お問い合わせ・申込みは
中央図書館 33391-5754へ